

東京 田邊南龍講演

甲州白河には私の兄弟の寺の修行に
云ふ古い刀鍛冶があまりいゝ都合
に彼つたうゝお持持たうゝ思ひ
ますから、久し振りに尋ねて見
いと思ひます。正々、それらも宜
からう。寧ろそれが鎌倉、それ
らうちやアありませんか。正々
ぢやう云ふことにやう。こ
が廻つて、是れから大阪に立上
りして中仙道を登つてやつて参り
遺へ三曲殿を参りな。一、
宿屋に寄りました。翌朝は御勢大
明頼様へ参籠して、便儀少々足
を締めましたから、疲れた休める爲
めに暫く此の所の湯で御座いな
うに緩く休想して参ります。丁
度三日目の朝。足もすくつて疲
れたからそう。立上りして白河の眞
行方を取ねやうと三曲殿へな
らぬ飯を終り。正々は便が廻へ
て来たから立上つて、則ち往き、用
事足して手を洗ひ。何の縁に

座敷迄来て下さい。主へイ、
こ後へつて来ました。座敷迄
入る。主、お客殿の御用でござ
います。も、明頼様、お参りも
しましたか。正、お駕籠、明頼様
は昨日参つて来ました。どうも
忙しい時をお祈り申して済ま
ない。主、どう致しまして。唯今
丁度手廻でございます。正外でも
無いです。が、今店先へ話をし
て居なすつた人は、さういふ見たやう
だと思ふのです。色の黒、左の
頬に刀疵の如き四十好の男、一
人は此の邊の人か、主へ、
彼人は三曲殿様さう云つて元は
刀鍛冶にたつたんですが、久しい
以前から此地に来て居ります。
正、さうでございますか、今矢張
此下、御所に仕込んで居るん
です。主、丁度、お師の御犬さ
う云ふ親類の家の、居りまして
十兩餘方知れ、主へ、
渡つて、殿後、主へ、

其を假に鐵倉に付んで居て居る

國で放擲の石のお目にかゝるの
 誠に慄しいものだから、長義さ
 んに遇ひたいと思ひますが、上諭
 防の航太さん云へば眞知れり
 せうから、其の航太さんの家を尋
 ねたら長義さんのお目に掛かれ
 てどうか、主「モシ」お客様、ち
 よつとお歸り、お知り合ひなら
 お遇ひなさらう方が宜しうなる
 がませう、此處にお立ちになった
 が、お爲めでございます、鎌倉に居
 たる分は、足錢、なんどは三人や
 五人やや無い、此邊の人は噂して
 居ます」

長義さん、漸次覺醒し來ない
 頭蓋を餘り使ひ過ぎるの頭蓋が
 少々抜れてきて、腦筋が頭蓋に擦
 り何處か痛くなる、頭蓋が開裂し
 て身も鮮明なる。從つて何をや
 りても仕方が手つかず、速く
 眠になつて少しも氣が休まず、我
 事をしてつても醒めが醒め、何
 事にも力が入らぬ。さう人間
 思ふうなつては、三、四、何、身
 元が起り、生命の條は、然る事
 なるが解らない。夫、此處は今思
 ひ泣つた、直に頭蓋に環、ペンキ
 色をして、頭蓋の桶の道を饒するこ
 と不衛生に必要である
 不衛生に必要である
 頭が非常に疲、身が痛く、頭

各也かくちは誼ぎ事こと牛ぎゅう効きう以い以い非ひ常じょう

捨つるも、平昌郡のみ今に平穩たるを利用し、後金、内陸人、建康を計る實で、去四月より七月、晴日、而都邑、内守、鮮山の上、に於て、内陸人、建康を、觀望するが、内陸人、仰方、行、志者、木、橋、に、伴、て、女、合、計、二、百、名、な、而、て、會、費、は、男、一、四、女、七、十、錢、の、間、合、以、て、持、多、し、盛大なる山遊會が、終りに、(終、)

○要の點(死、大田) 大田郡、優、德、而、大、不、罪、尹、仁、成、は、數、前、朝、殺、つ、た、の、あり、て、李、姓、な、き、を、妻、に、配、り、た、大、夫、婦、の、間、に、な、ま、き、よ、り、隣、に、住、む、林、姓、女、を、妻、し、た、が、家、庭、に、國、統、總、を、妻、は、數、日、前、歐、美、人、出、し、擧、案、中、な、り、し、が、四、夜、品、し、歸、り、來、り、我家、の、軒、下、の、梁、に、權、を、品、し、て、死、死、

頭、痛、し、吐、き、出、す、て、困、な、る、の、で、あ、ら、う、に、頭、痛、の、藥、を、飲、み、し、た、が、命、を、縮、め、る、歐、風、の、ある、から、今、直、ち、に、常、務、學、士、官、閣、下、に、治、療、を、施、し、し、心、身、を、醫、治、し、體、を、明、瞭、に、す、る、必、要、が、あ、る、

力、の、減、退、し、神、經、弱、や、不、眠、症、を、露、れ、ば、頭、痛、に、力、が、な、く、な、る、の、自、然、と、記、憶、が、悪、な、る、

に、努、力、し、て、自、分、の、し、事、を、記、憶、し、留、め、て、置、く、に、か、が、出、な、い、に、倦、み、に、堪、へ、る、は、ど、頭、痛、を、前、身、を、衰、弱、し、て、疲、勞、さ、る、人、は、一、に、記、憶、が、減、退、す、る、斯、う、な、人、は、シ、ン、サ、ン、を、多、量、に、み、米、麥、を、食、さ、す、

民、衆、に、最も、適、し、て、頭、痛、の、明、確、な、治、療、を、服、し、し、頭、痛、の、明、確、な、治、療、を、服、し、し、心、身、を、爽、快、し、な、け、れ、ば、な、ら、ぬ、善、は、絶、け、今、直、ち、に、レ、

三浦野上内藤氏方殿より、
さいていとう さいていとう
こま こま
ふらんあふりかい ふらんあふりかい
 に来住する事となり、釜山旭會け

[illegible]

雜貨の仕入者

釜山明澄屋
主將表送呈佐候

青竹直輸入販賣
豐後石炭販賣
海產物肥料商
左官用海草
萬荷受問屋
釜山高島町
⑪ 三谷隆商店
電話一三二












月刊 洋酒・罐詰
電話三五九七番
山登 東あづまや商店
振替京城三九七
發行 糖粉・官煙・

 認明商標
 元寶號紙業川視
 商農勸鮮朝陽
 肥


 飛ぶように速い。
 サンエス
 ウォタマン
 萬年ペン
 金庫本町一

酒 精 糖 燒 耐
西 貢 米 碎 米 大 豆
砂 糖 麥 粉 雜 糧 食 品
釜山理立新町

石鹼界之霸王
シトロン
精選品質本位
分株

血の道

△子 宮病	△主 治	△効 能
△内 膜炎	△下 腹	△血 ふみ
△腰 加答兒	△血 の道	△難 産流
△氣 ふさき	△婦 人血	△痛 高ぶ
△産 前産後	△腰 足冷	△夜 眠れ
△月 経滞り	△月 経不	

世界
の
際
涯

買
に
機
ま
つ
て
行
く

靈藥 國產
中將湯

阿呆げた話 あほうげたわなし

和漢藥復興の聲喧しく、人參の傳授承認せられ、中將湯式^{たくし}提出^{しゅて}藥の眞價^{しんけ}はいよいよ東西醫學界の問題となりて、本邦に於ても彼の有名な産科婦人科の大醫緒方^{じょかた}病院長緒方醫學博士^{じょかた}などは現に提出^{しゅて}藥を自家の病院に於て應用せられつゝありと或は婦人世界、婦人界の如き第一の婦人雜誌の記者に注目すれば續々たる漢法藥の眞効果を紹介しつゝあるを見る、斯くの如き時世に於て笑ふに堪へたる趣言をなすものあり。即ち從來の提出^{しゅて}藥などは舊式なる時代遅れにて効力が寡い云々など、實に智識階級の人々をして失笑せしむるに足る半可通の詭辨ならずや、弊舖^{へいふ}附屬化學研究所部員津村理學士及び藤田藥學士等の研究に據るも「中將湯式^{たくし}の藥は提出^{しゅて}藥として用らるにより初めて完全なる奏効を顯す事を得るなり」と發表せらる。

飛行機^{ひこうき}の智識は時代遅れなりと叫ば、如何^{いかん}？電氣^{でんき}の智識は現代人に不要なりと言は、如何^{いかん}？和漢藥復興の聲、飛行機^{ひこうき}の如く或は電氣に於けるが如く一般的ならざるを良しとして前述の如く謬言をなすとせば、それは實に子供蘭しの阿呆らしき話なり、何故ならば、今や苟くも醫藥界の事情に通ずる人なりせば、和漢藥復興の聲を聞かざる者はなければなり

[illegible]

本舖 津村順天堂
 電話本局 六六二二番
 支店 津村順天堂
 電話東京 六〇八三番
 大阪市大寶寺町堀筋
 支舖 津村順天堂
 電話市 二五番
 新勢大阪四五六番
 製劑所
 東京市外上目黒大坂上
 津村化學研究所
 電話芝 一七七番
 電話市 二四七〇番

京城

猶太人問題の解決

英國政府の宣言

△猶太人問題の解決 英國政府の宣言 猶太人問題の解決は、世界平和の鍵を握る。英國政府は、今日、この問題について、明確な立場を表明した。猶太人の権利を保障し、彼らの生活の安定を確保することは、世界の平和と繁栄のために不可欠である。英國政府は、この問題について、公平で合理的な解決策を模索し、最終的にこの問題を解決するまで、努力を怠らなからうと誓った。

米紙対日論調

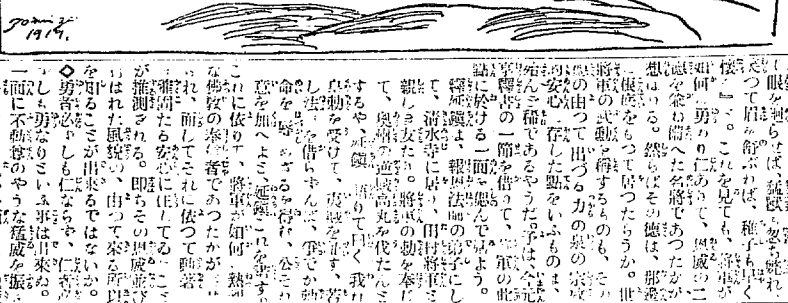
△米紙対日論調 米紙は、日本の現状について、厳しい論調を採っている。日本の経済は、戦後の混乱から回復し、成長を遂げているが、その一方で、社会的不安定や政治的な緊張も存在している。米紙は、日本が平和と安定を維持するためには、さらなる改革が必要であると主張している。また、日本が国際社会に貢献するためには、透明性と責任感を示す必要があると指摘している。

道峯の遠望

△道峯の遠望 道峯は、日本の未来について、遠くを望んでいる。彼は、日本の文化と伝統を大切にしながら、現代の技術と知識を取り入れる必要があると説いている。道峯は、日本が世界のリーダーになるためには、自己革新の精神を失ってはならないと強調している。彼が望んでいるのは、平和で繁栄する日本であり、世界に誇れる日本である。

英紙類禁輸

△英紙類禁輸 英國政府は、紙類の輸出を制限する措置を講じた。これは、紙類の供給不足を防ぐための措置である。英國政府は、紙類の生産と消費のバランスを維持するために、輸出を制限する必要があると判断した。この措置は、紙類の価格を安定させる効果があると考えられている。



文芸春秋

五月 文芸春秋 創刊以来、文芸春秋は、読者の心を捉える作品を発表し続けてきた。この五月号では、最新の文壇動向や、著名作家のインタビューが掲載されている。また、読者の声も随所に反映されている。文芸春秋は、これからも、読者のために、質の高いコンテンツを提供し続ける。

箱材受負 熊野製材工場 熊野製材工場は、箱材の受負業務を提供している。同工場は、高品質の木材を使用し、正確な加工技術で、お客様のニーズに合わせた箱材を提供している。また、納期も厳守し、お客様の業務をサポートしている。

朝鮮集報

朝鮮集報は、朝鮮半島の最新ニュースや経済動向をまとめた集報である。この集報には、政治、経済、社会、文化などに関する情報が豊富に掲載されている。また、専門家の分析やコメントも含まれている。朝鮮集報は、朝鮮半島の現状を把握するための重要なツールである。

作文手紙講義録

作文手紙講義録は、作文の書き方や手紙の書き方を学ぶための講義録である。この講義録には、基礎的な書き方や、応用的な書き方など、様々な内容が収録されている。また、練習問題や模範文も掲載されている。作文手紙講義録は、作文のスキルを向上させるための良伴である。

ガソリン消防唧筒界の最高權威

高級機械工具の完備と製作品の精巧

ガソリン消防唧筒は、消防活動に不可欠な道具である。ガソリン消防唧筒は、威力強大で、操作が簡単で、メンテナンスが容易である。ガソリン消防唧筒は、消防隊や消防団にとって、最も信頼できる道具である。

森田製作所

技術の進歩と製作能力の増大

森田製作所は、最新の技術と設備を導入し、製作能力を大幅に向上させた。森田製作所は、様々な機械工具の製作や修理業務を提供している。森田製作所は、お客様のニーズに合わせた製品を提供し、お客様の業務をサポートしている。

和裁縫講習録

日本裁縫教育會

和裁縫講習録は、和裁縫の技術を学ぶための講習録である。この講習録には、基礎的な縫い方や、応用的な縫い方など、様々な内容が収録されている。また、練習問題や模範文も掲載されている。和裁縫講習録は、和裁縫のスキルを向上させるための良伴である。

元價賣出

五月十五日ヨリ

元價賣出は、商品の価格を元の価格に戻すというキャンペーンである。五月十五日から、様々な商品の価格が元の価格に戻される。元價賣出は、お客様の利益のために実施されている。

...の如きもの

▲腰痛の形勢

卷之四

天
三
三

三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

對にインキの漏出せざる
 國製
 ムアー號萬年ペン 一號 金五圓三十錢

朝鮮代理店 京城本町 篠崎文具店

正しき國旗

日本帝國國民は毎戸に必ず一旂の國旗を備へ置かざるべから
 然れども從來の國旗には遠式粗惡の品多し、故に我社は國
 國旗を謹製し廉價に提供す、此の際奮つて國民精神の表彰
 たる正式國旗を求められよ。

定價
 甲號 新モス製縦巾鯨尺一尺八寸五分 金八十錢
 乙號 同 縦巾同 一尺四寸五分 金五十錢
 其他各種地質及び大小御注文に依り調製可致候

國旗袋

旗是我國體の表現にして我國家の標識なり、されば其取扱を
 鄭重にせざるべからず、然るに往々此の神聖なる國旗を一
 の裝飾物の如く取扱ひ、且つ損傷法に至り此の區々にして非
 の點多し、今回はれ等の弊を矯正せん爲め、體裁優美堅牢なる
 袋を考案し、表面には旗色及び其解説裏面には掲揚法其他
 の心得を詳記し、平素は旗、紐、球等を納め、清淨なる所に掛
 け、直ぐ便利に袋にして國旗尊重上各戸に缺くへからざる者なり
 其他會社商店團體の旗章及び球、竿、紐等の附屬品廉價に調製
 納付可致候

發賣所 京城黃金町三丁目一百九十一番地
 實踐大道社
 回業務擴張の爲め各道に販賣主任を契約す希望の方は御申
 被下度候

